

# 総合的な探究の時間（各教科）×学校図書館

福井県立勝山高等学校

活用目的	資料の活用	利用指導	情報活用能力の育成	読書指導
------	-------	------	-----------	------

本事例のねらい	総合的な探究の時間、各教科において学校図書館と連携した授業を展開することで、学校図書館にすれば、自分のほしい情報を入手することができることを認識させ、情報活用能力の育成につなげることがねらい。
---------	--

## 本事例の概要（学校図書館等を活用した項目に★印）

- ★(ア)「図書館オリエンテーション」「図書館ワーク」を、総合的な探究の時間や発展的な探究活動を行う学校設定科目「LABO」の年間計画に設定。情報リテラシーの向上を目指す。総合的な学習の時間や「LABO」の個人活動時は図書館が利用でき、学校司書が情報収集をサポート。
- ★(イ) 探究コーディネーター、教職員が「図書館オリエンテーション」を担当。図書館の使い方や資料の分類、図書館利用のガイド、書架のブラウジングを学校司書が支援。県内の公共図書館からの貸し出しも周知。
- ★(ウ) 探究活動での利用を促進することによって、年間貸出冊数が令和4年度2,053冊から令和5年度は3,398冊に増加。県内の公共図書館から取り寄せた資料は、令和6年度は300冊以上と大幅に伸びており、生徒は図書館を利用することで、欲しい資料を収集する力が身についてきたといえる。さらに、「図書館ワーク」を行うことで、情報収集のための読書ができるようになってきている。



本事例に関わった人（いる場合は○を選択してください）	実践のポイント
<input type="radio"/> 学校司書 <input type="radio"/> 司書教諭 <input type="radio"/> その他の学校職員 <input type="checkbox"/> ボランティア <input type="radio"/> 公共図書館職員 <span style="margin-left: 20px;"><input checked="" type="checkbox"/> 団体貸出</span> <input type="checkbox"/> その他	国語の授業では、多種多様な本に触れることで読書への関心を高め、選書力や読解力の向上を目指す活動を、地理の授業では、「地図から災害を読み解こう」というテーマのもと、「自分が住宅を建てるとしたら、どのような場所を選ぶか」という討論を、学校図書館の資料を利用し実施。

資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝山市総務課『勝山市防災ハザードマップ』勝山市,2022</li> <li>・福井県建設技術公社『ふくいけんの自然災害いのちをまもるために』福井県土木部,2022</li> <li>・牧恵子『〈あらまし読み〉—《探究》の入口となる新・読書術—』  <a href="https://www.aramashi.online/">https://www.aramashi.online/</a>,(参照日2025,8,18)</li> </ul>
----	---